

平成 21 年 2 月 14 日

東京フォーラム

於：湯島聖堂

## 中斎塾 東京フォーラム

### 平成 21 年 第 2 回講話

おかげさまで順調に 2 月 7 日、中斎塾フォーラム第 2 回年次大会が成功裏に終了致しました。有難うございました。

では最初に質問を致しますので、心の準備はよろしいですか。

もう、皆さん嘘をつかなくなっていると思うのですが・・・、

「昨日一日、嘘をつかなかったと自信をもって言える方、手を挙げて下さい」

(・・・沢山手が挙がる)

嘘をつかない人生が過ごせると、毎日が爽やかになってくる。非常に良いことです。

もう一つお聞きします。

「昨日、夜寝る時には良い一日だったと思えた方、どれくらいおられますか」

(・・・沢山手が挙がる)

「先週一週間、誰かに有難うと言い、誰かから有難うと言われた毎日を送れた方は手を挙げて下さい」

(パラパラと、手が挙がる)

・・・ちょっと苦しくなりましたね。

毎日毎日というのは、なかなか難しいですが、最初は昨日一日から、段々と日にちを延ばして、最終的にフォーラムは月に 1 回ですから、「先月どうでしたか？」という聞き方にしていこうと思っていますので、そのつもりで頑張ってくださいと思います。大丈夫でしょうか？ 夜寝る時に毎日、<今日は嘘をつかなかったか> <良い一日だったか> <有難うと言い、言われたか>・・・と思いつけて 1 ヶ月過ぎないと、ずっと手が挙がりません。

もう一つお聞きします。

「今朝、気持ち良く起きられた方はいらっしゃいますか」

・・・はい、有難うございます。

私もなかなか起きられないで七転八倒して起きる時がありまして、そういう時はやはり一日スムーズにはいかないものです。すっと目覚めて気持ち良く、よし、やろう！と思うと、一日スムーズに参ります。

もう一つお聞きします。自分は朝方か、夜型か考えて下さい。

「自分は朝方の人間だと思う人？ 夜型だと思う人？」

・・・五分五分ですね。

どちらが良いとは申しませんが、私自身の体験からいくと、朝早く起きた方が仕事が捗ります。夜やっている時は確かに充実しているのです。しかし翌日、普通に起きて普通に仕事ができるかという、なかなか出来ません。今朝私は、4時に気持ちよくさつと起きまして、6時45分に文京区の倫理法人会に伺って話をさせて戴きました。私が夜型だとなかなかそういうお話は受けられませんが、朝型で動いているので応えられます。私は、一日の仕事は午前中でほとんど終わりにします。後の時間はおまけだと思っていますので、おまけの時間は結構気が楽です。以前は夜型だったのですが、途中で朝方に切り替わると色々な仕事が捗るようになりました。ですから自分自身の体験からすると、朝型がお勧めです。

最後の質問をします。先ほど論語の素読をして戴きました。論語に段々馴染んで戴いていますが、

「論語の言葉の中で、何となく気に入った言葉が一つでも見つかった方はおられますか」

・・・有難うございます。

この時間の中で気になる言葉があったら、出来るだけ後で自宅に帰られて調べていただくとよろしい。学者の先生がどういう説明をしているかを確認して戴く。大体、学者の先生の説明は読んでいてもなるほどと納得するものは少ないと思います。ご自分で考えて納得すると良いですね。論語の言葉と実体験が結び合った時に、これは良い台詞だと思うようになります。

私は自分で好きな言葉に「利によりて行なえば、怨み多し」を挙げています。これは「嘘をつかない」「約束を守る」とセットになっております。何か一つでも自分の好みの台詞を見つけて、それを熟読玩味して、考えて考えて考え抜いて戴くことがよろしいと思っています。

本日の「**心に残る言葉**」を申します。先ほど申しました文京区の倫理法人会で使ったものをそのままご紹介しました。倫理の創始者の言葉です。

話をする時には、

**具体的に話せ**

**準備をよくせよ**

内容を十分研究しておけ

『丸山敏雄伝』倫理研究所監修 丸山敏秋編 近代出版社

皆さんがどこかで話をされる時に、抽象的な話をすると、大体欠伸が出てくるものです。でも実体験を交えながら話をすると聞いて貰えます。私自身、創始者という方の話をするのに、この言葉を実践しました。2ヶ月間くらい準備をしましたし、本を読み直して、内容を研究しました。

そうしましたら、親近感を持った点が多々ありました。創始者はお豆腐が好きで、必ずお湯を通したもののしか食べなかったとか、鰯が好きで、黒焦げに焼いた鰯を自分が食べるだけでなく、家族にも黒こげを食べさせた等々、細かな食生活が書いてありました。孔子の食生活も、論語の中に詳しく書いてありますので、それと同じだと感じました。創始者という人について、どういう人物だったか、こういう生活だったのではないか、こういう事を考えていただろう、こういう本を書いている・・・と、2ヶ月間ずっと反芻しながら過ごしておりましたので、頭の中にだいたい創始者の日常生活が浮かんできました。

創始者は59歳で亡くなったのですが、自分の息子さんに、「お前達は幸せだな。私は40年50年迷いに迷って、探しに探して、やっと純粋倫理という幸せのルールを発見した。それをお前達は自分たちで悩み、探し求める事をしなくてもすぐに聞ける。これは幸せだ」と言われたそうです。亡くなる寸前の6年間で、倫理というものの考え方を発見し、追及し、事業を展開していきました。創始者の述懐で、「私の一生は倫理という道を探し、発見し、皆様にお伝えする為に私は生まれてきたのだ」とあります。

一生の間で6年間で、その人の人生を変えた時期だったのだと感じました。そうしましたら、先日のハドソン川に飛行機の不時着した事故が浮かびました。飛び立ってすぐにエンジンに鳥が吸い込まれ、これ以上は飛行できないという事で、155人の乗客を乗せたままハドソン川に不時着させました。奇跡的に全員が無事でした。サレンバーガーという機長の台詞が、とても良い台詞だと思いました。「これまでの私の人生は、この3分30秒を乗り切る為の準備だったと思います。」というものでしたが、人生の中でそういう事が言える人は幸せだし、充実した人生だと思います。

自分の人生の中で、私はこれをする為に生まれてきたのだとか、この仕事を成し遂げるために生まれてきたと思えるような仕事に出会う、いわゆる天命・使命という言葉になると思いますが、そういうものを感じとれる瞬間があったら、素晴らしい人生だと思います。

今日の「心に残る言葉」はかなり具体的なものですから、もう少し細かく申します。

具体的に話せ・・・良いなと思ったらすぐにメモを取って、必ず見直しをする癖が必要

だと思えます。自分で判読できないようなメモ書きはいけませんね。もう亡くなられたダイエーの中内会長は、メモ魔と言われました。もの凄いメモをぎっしり書いて、そのメモを判読して指示を出す人が側にいたそうです。中内さんの場合はそれを仕組みとして作り上げていたと思えます。そして巨大な企業を、一時期はそれで動かしていたと感じます。

普通の人には自分でメモをとって見直し、実行するという個人的な動きだと思えます。私はメモに「へ行きたい」と思って書いておくのですが、なかなか行けないでいると催促されるような気がします。そうすると気持ちがだんだん高まってきて、今日は時間が取れたから気になっている所に行こう、というようにすっと動きます。

**準備をよくせよ**・・・先日申し上げた、新型インフルエンザの準備の方がより良く分かると思えますので、もう一度お話し致します。

今、日本は相当危機が多いと思えますので、そのための準備が必要です。先月のフォーラムで新型インフルエンザについてお話しましたが、新型インフルエンザの準備についてお聞きします。

- ・ 家庭で、新型インフルエンザについて打合せをしましたか。
- ・ 新型インフルエンザが発生した時に、まずどういう行動をとらねばならないという事について家族で打合せをしましたか。
- ・ 新型インフルエンザの情報を取る時は、どこからどのように情報を取れば良いか、家族と打合せをしていますか。
- ・ 新型インフルエンザが発生した時に、マスクやゴーグルの正しい付け方・外し方を知っていますか。それについて家族で打合せをしていますか。
- ・ 新型インフルエンザが発生したら、どれくらいの時間で日本に来て、どれくらいの時間で日本国内に感染が広がって、自分自身に到達するのはいつ頃か、といった事を考え、家族で打合せした事がありますか。
- ・ スペイン風邪の情報をどの程度ご存知ですか。

準備はいくらしても、し過ぎる事はないと思えます。

今日は、中斎塾フォーラム参与の大野さんが来ておられます。新型インフルエンザが日本で発生すると、当然電車も止まるし、交通機関は麻痺状態になります。参与の会社はマスク・ゴーグルを製造提供している会社ですから、日本国内で新型インフルエンザが発生した場合には、すぐ会社に来られるよう会社の近くにマンションを借りてあるそうです。どんどん具体的な準備をしている方が増えていると感じます。

**内容を十分研究しておけ**・・・今の話と同じになります。

今日のテーマは判断の三原則ですので、どうしても本質・大局・歴史を具体的に申し上げなければいけないと思っています。

今、この判断の三原則を考える時に、一番良い事例は山田方谷だと思っています。

山田方谷という人は備中松山藩（今の岡山県）の、今でいえば大蔵大臣、そして内閣総理大臣をやった人です。73歳で亡くなったのですが、45歳までは教職にありました。まさにここ湯島聖堂の縁ある佐藤一斎のお弟子さんです。佐藤一斎は明治維新の志士たちの精神的支柱であった人物で、お弟子さんに山田方谷と佐久間象山がいました。佐久間象山のお弟子さんには、吉田松陰と小林虎三郎がいます。山田方谷のお弟子さんには、河井継之助と三島中洲がいます。

佐藤一斎に仕込まれた山田方谷は、佐藤一斎の塾の塾頭になって、教育面では最優秀のレベルだったわけです。それが備中松山藩に帰って、自分の郷里で藩校の校長先生をしていました。方谷が教え育てた板倉勝静が藩主になって、備中松山藩を立て直す為に、自分に帝王学を教えた師匠である山田方谷に、大蔵大臣になってくれるよう頼んだわけです。それを受けて、方谷は45歳という引退間際の年代で引き受けたわけです。

方谷が大蔵大臣になって備中松山藩の中身を徹底的に調べると、とんでもない破産状態でした。今の時代で言うと20億円くらいの会社で、100億円の借金がありました。これは<入るを図りて、出ざるを制する>をせねばなららんということで、具体的に事を進めるにあたっての哲学「事の外に立ちて、事の内に屈せず」を打ち出して、再建に取り掛かるわけです。

山田方谷という人は、行財政改革の面で見ると、多分それを成し遂げた横綱クラスの人だと思います。年収20億の会社が、8年間で100億円の借金を返し、同時にその8年間で100億円の貯金をしたとのですから、大変な大人物です。

又、財政面だけでなく、国民の気持ちをしっかり捕まえました。当時は飢饉が多くて飢え死にする人が多かったわけです。備中松山藩では義倉所（お米を積んでしまっておく蔵）を藩内に40箇所作りしました。飢饉が発生した時には、それを領民に配るという事を公約しました。

財政再建をして、領民対策をして、更に軍備もきちんとしてしました。「里正隊」という、農民を集めて洋式鉄砲を取り入れた洋式の軍隊を作りしました。これが高杉晋作の奇兵隊のモデルになったと言われています。

又、鉄が採れましたから、鋤や鍬を作り、船に乗せて江戸へ直接売りに行きました。産地直送をしました。

財政再建、領民安堵、危機管理、産地直送・・・こういった事を実行して、備中松山藩をあっという間に復興させたわけです。その進め具合を見ると、余人を以て替え難いという内容だったと思っています。

山田方谷の一生を考えて、その業績を本質・大局・歴史で内容を見ると、その中身の素晴らしさが浮かび上がってくると思います。

話題が変わりますが、金融恐慌が発生するような時期は、日本でかつてありました。その時の総理大臣は暗殺をされました。大正9年日本で株が暴落し、取付け騒ぎが起き、昭和2年には昭和金融恐慌が発生しました。昭和5年には時の内閣総理大臣の浜口雄幸が暗殺されました。その時の井上準之助という大蔵大臣も、大臣を辞めた後に暗殺されました。

金融恐慌が発生するような時代には、日本の総理大臣・大蔵大臣は暗殺された、という事実を踏まえてみると、今の日本はそれに酷似しています。小泉さんは何事でもありませんでした。その後の総理大臣たちは、狙われる前に辞めてしまいました。今回の麻生さんも狙われる前に辞めるのか、襲われて辞めるのか判断が付きませんが、そういう状況下にある職責だと思います。

山田方谷も自分が暗殺される事を腹に決めて、暗殺される事を前提に仕事に取り組んだという記録が残っています。

いずれにしても後生に残るような大きな仕事をする時には、本当に命がけだったのだと感じます。翻って今の日本の政治家や経済界を見ると、命がけでやっているのでしょうか？

山田方谷が持った哲学「事の外に立ち、事の内に屈せず」をベースに、本質・大局・歴史で考えます。

本質・・・山田方谷がその業績を上げた時には、本質は備中松山藩を再建するという事でした。普通は経済的なものを再建する事しか考えませんが、山田方谷はものの考え方を徹底的に作り直しました。それは教育です。実際の仕事をしながら、鋤鍬を振りながら、ものの考え方を徹底的に根幹から直してゆく。それによって経済から、軍備から、実務のすべてが正されていったわけです。つまり本質は、心を正すところにあったわけです。それによって備中松山藩が再建できると考えて、実行したと考えています。

今お話していることを現在の日本に置き換えて考えて下さい。現在の日本は、山田方谷に比するような人物が政治家・経済界にいるのか？ いなかったら、いつ出てくるのか？ そういう人がいないのであれば、自分個人としてはどういう事をすれば良いのだろうか？・・・自分自身の言動に置き換えて本質を考えて載きたい。

中斎塾フォーラムで一緒に学んでいる方は、<嘘をつかない>という一つだけで結構です。そしてそれに<約束を守る><利によりて行なえば、怨み多し>がセットになれば、山田方谷の行なった再興の道に非常に近づくと考えています。

大局・・・大局観というのは、私は氣球に乗ったような感じで物事を考えます。目に見える所だけしか考えないと、視野狭窄になります。氣球に乗って上に上り、上から見下ろしているような氣分で眺めて、尚且つそこにいる人達の一人一人の立場・氣持ちになってものを考え判断してみようと思って物事を見つめていると、全体が掌に乗ってくる。そういう実感が味わえます。ものを考える時に、どんどんミクロの世界に入っていき考え方と、どんどん拡大していく考え方があります。どんどん上に上って全体を捉えるようなものの考え方をしてゆくと、普段考えていなかった事がポツと浮かんで来る事があります。それを意識的にルール化していけば良いでしょう。

歴史・・・私がいつも歴史で見る時は、60年前、60年前で考えます。日本の場合60年前を見ると、本当かと思うような事がかなりあります。

何回か申し上げていますが、60年前を見る時には、インターネット等で昭和21年2月17日付けの新聞を御覧になるとよろしい。それからもし1日時間がとれたなら国会図書館に行って、60年前の新聞が5紙ありますから、それを御覧になるとよろしい。私も1日かけて調べました。その結果、かなりのコピーをとってきました。えっと思うような事がかなりあります。

本質・大局・歴史というものは、自分の足で調べて、自分の足で体験談が出来る人の所に行って話を聞くことをお勧めします。

山田方谷の中で非常に印象に残っている台詞があります。「重税は国を滅ぼす」という言葉です。税金を細かな所までかけるような国は滅びると書いています。方谷が財政再建に取り組む以前は、備中松山藩は立ち木一本にまで税金をかけ、領民達はどうにもならないくらい重税に喘いでいました。

今の日本も税金が非常に高いですね。所得税にしても個人の所得税は50%です。世界最高税率は59%ですが、社会保障がその分厚い。日本は4番目に税金が高い。税金を何が何でもとろう、ない所からでもとろうとしている国は滅びると思っています。

この会場に入ってきました時、或る会員さんに『木内信胤語録』を差し上げました。この本はかなり前に猪瀬常任理事と一緒に作りまして、年に1冊か2冊差し上げると決めています。減る一方ですので、それ以上は差し上げられないのです。

この本はものを書く上に、色々役に立つ事が沢山書いてあります。作りたての頃、この本を差し上げた方の中に「実に良い本をくれました。トイレで読むには最高です」と言われた方がいまして、がっかりしました。しかし厠上という言葉もありますし、安岡先生は「トイレの中で本を読むのは実に良いことだ。トイレの中は箴言を読むべきだ。小説ではない。」とおっしゃっています。箴言とは、色々考えさせられるちょっとした言葉です。しかし私は、どうも自分の師匠の本をトイレでは読めません。

木内信胤先生の言葉を、少し見てみましょう。

**低級なことを知らないのに、  
高級なことを聞いてはいけない。  
知ったかぶりをしてはいけない。  
日本人に知識人はないですよ。**

時々パラッと開けて見ると、心が温まるような言葉が沢山あります。

**自分の尺度の基準は、嬉しくて嬉しくてたまらないような心持であれば間違いない。**

自分で判断基準を持っていると言うけれども、判断をした後が嬉しくてたまらないようであれば、その判断基準そのものが良いのだという事です。暗くなるような結果が出るような判断基準であれば、判断基準そのものが悪いという事です。

**ものごとは簡単に考えるのが良いです。  
長く話すんじゃなく、簡単に短く話すのがいいんです。  
難しく考えちゃいけませんよ。**

私は木内信胤先生が話しをされたものを、必死になって書き溜めようと思って、一所懸命書き取りました。ですからいつの間にか速記ができるようになりました。

自分の身の回りに、聞いた時すぐに言葉で答えてくれるお師匠さんがいたら幸せです。もしお師匠さんがいないとか、すでに亡くなっていたら、本の中から探せば良い。本の中から素晴らしい人物だと思う人を見つけたら、その人がどういう人生を送ったかを徹底的に調べて、徹底的にその方の業績を調べぬくと良い。そうするとその人と頭の中で会話ができるようになります。

私の知り合いで中斎塾参与で俳人の方は、「松尾芭蕉と夜中に取り組み合いをするので」とおっしゃいます。自分で自問自答するのですが、松尾芭蕉と丁々発止しているような気分で本を読んだり、俳句を読みこなしていくという事だと思います。本の中で、これはと思う人を見つけられたら素晴らしいと思います。私は何度も申し上げていますが、渋澤栄一という方を本の中で見つけました。渋澤論語が好きで読み続けています。

良い本を見つける事、人格者を見つける事、これが出来たらその人の一生は相当明るいものになります。

私は今年1年間、どんどん悪くなると申し上げています。デフレスパイラルが始まり出していますから、加速度的に悪くなる。少し前に5万円のパソコンが話題になりましたし、インドでは20万円という自動車が出ました。たしかに垂直落下でどんどん下がっています。大きなもの重たいものは、かなり加速して値下がりしています。食べものは今、安く売られるようになっていますが、そうそう安い値段で出るわけがありません。当然値上がりしてインフレになると思います。デフレスパイラルとハイパーインフレに向っての動きが両方続くのが今年だと思っています。

常任理事から、暗い話だけでなく明るい話もして欲しいという要望がございましたから、明るく今年一年を過ごすにはどうしたら良いか申します。

私は自分で気に入った本を常にそばに置いて読むとか、綺麗な花、可憐な花をゆっくり見るといったことに喜びを感じます。今年は、花を見たり、良い本を読んだり、良い友人知己と話し合ったり、心を豊かにする事を意識的にして下さい。目の前の経済活動は嫌な話が非常に多くなりますから、それを常に浄化するように進めていないと、今年は大変だと思います。

心の中に妬み・憎しみ、嫌な気分になるもので満たされてくると、必ず身体が悪くなります。健康でありたいと思えば、嫌な話はとにかくどんどん出してしまう。そういうことを私は今、意識してやっています。そうすると嫌な話や困った事を、真正面から受け止める事が出来る。斜に構えていると大きなダメージですが、真正面から受け止めると、意外と簡単に処理できるものです。自分にとって心地よい、心が癒されるようなものを意識的に取り入れるとよろしいでしょう。先日の年次大会の懇親会で、皆さんでふるさとを合唱させて戴いた時に、これは良いなと思いました。歌も本当に心を癒してくれるものだと感じます。

「得るは捨つるにあり」という言葉があります。健康で長生きしたいと思ったら、目の前のご馳走を全部食べないで、ほどほどにしておく事です。ビジネスをする時も、「得るは捨つるにあり」で、もっと利益が欲しいと思うと、人相が悪くなります。良い表情の方は、ほどほどです。そんなに、がっついていません。身の回りを見渡ししてみると、「得るは捨つるにあり」という事例は沢山あります。気が付かないだけです。そのキーワードは「ほどほど」「腹七分目」「わがままを言わない」「もったいない」・・・こんなに良い言葉が、日本には沢山あるのですから、そのうちのそれか一つでも自分自身のものにしてゆけば、いつもニコニコした笑顔でいられます。物欲が無いと、表情も色艶も良くなります。

家庭の中でもそうですが、一歩退いて相手を立てるだけで、自分の人生がガラッと変わってきます。私は社長業を辞めてから、笑顔が出るようになったと妻に言われます。一歩退くと、心の中が変わるだけでなく、見た目も変わってくるのだと感じます。

今年は意識して、自分が笑顔でいられるようなものを自分で探す。それを常に実行しながら一年間過ごすと思っています。私は花を見、本を読み、良い人に会うという事を繰り返そうと思っています。こうやってフォーラムに来る事自体が楽しみで、癒しになります。良い話を繰り返していると、自分の心の中が爽やかになります。これが倒産の話や失業の話ばかりですと、段々苦しくなってくる。しかし暗い話を聞いていても、フッと飛ばして、癒された良い心持ちでいると、失業や倒産の相談が来ても前向きに話が出来ます。

今年は不況が続いて悪い年ですが、それを少しでも明るく良い年にするのは、ご自分一人一人の心持ち次第だと思っています。

本日の講話はこれで終了に致します。有難うございました。